

授 業 科 目	義肢学Ⅱ（義手）		
教 育 内 容	専門分野	基礎義肢装具学	
担 当 教 員	丸山貴之、中村喜彦、高橋功次		
学 年	2	単 位 数	1
開 講 時 期	前期 ・ 後期	時 間 数	講義 30 時間

■ 授 業 概 要

上肢切断者の特徴について教授するとともに、前腕能動義手および上腕能動義手を中心にソケットの特徴や義手の操作原理、パーツについての講義を行う。また、顎上支持式ソケットと電動義手の理論と実際について教授する。

■ 到 達 目 標

- 1) 上肢切断者の切断原因および切断レベルについて説明できる
- 2) 手先具、手継手、肘継手等のパーツの特徴を説明できる
- 3) 切断レベルや日常生活との関係を考慮して、ハーネスやソケット等を選択できる。
- 4) 顎上支持式ソケットの種類と特徴を説明できる
- 5) 筋電電動義手の構成を理解し、電極の位置設定を説明できる

■ 授 業 内 容

第 1,2 回	義手概論
第 3 回	前腕能動義手の操作および前腕ソケット〔差込み式〕採型法
第 4 回	手先具・手継手の種類
第 5 回	前腕義手に用いられる肘継手
第 6 回	前腕義手のソケットの種類
第 7 回	ハーネスの種類と構成
第 8 回	コントロールケーブルシステムの構成とプーリーシステム
第 9 回	前腕能動義手仮合せ・適合評価法
第 10 回	上腕能動義手の操作および上腕ソケット〔差込み式〕採型法
第 11 回	上腕義手に用いられる肘継手、ソケットの種類
第 12 回	上腕能動義手仮合せ・適合評価法
第 13 回	義手操作訓練とリハビリテーション
第 14 回	顎上支持式ソケットの種類と電動義手
第 15 回	臨床における義手の製作経験

■ 評 価 方 法

「小テスト」、「期末試験」での各評価を総合して行う。
小テスト 10%、期末試験 90%

■ 教 科 書

義肢学第 3 版、義肢製作マニュアル第 2 版、義肢装具のチェックポイント第 9 版、義肢装具ハンドブック（参考図書）切断と義肢

■ 留 意 事 項 ・ そ の 他

小テストを随時行う。

＜講師の実務経験＞

中村喜彦：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 5 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 16 年間勤務。

丸山貴之：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 5 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 16 年間勤務。

高橋功次：リハビリテーションセンターおよび義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 39 年間従事。